

自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた 検討の方向性及び主な論点（案）

（方向性）

- 自然に健康になれる持続可能な食環境づくりは、減塩の推進等の健康の保持増進に関する視点を軸としつつ、事業者が行う環境面に配慮した取組にも焦点を当てた取組として、事業者がこの取組の趣旨に見合う食品を供給し、消費者がそうした食品をふだんの食事において利活用しやすくすることで、国民の健康の保持増進を図るとともに、活力ある持続可能な社会の実現を目指すものとしてはどうか。

- 本取組は、産学官等連携の下、PDCA サイクルに沿って進めていくとともに、持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも資するものとして、東京栄養サミット2021等の機会も活用しつつ、我が国のこうした取組について国内外に広く情報発信していくこととしてはどうか。

（主な論点）

上記の方向性で検討を進める場合、以下の事項についてどのように考えるか。

- ・ 健康の保持増進に関するものとして、活力ある持続可能な社会の実現を目指す観点から、優先して取り組むべき栄養課題

- ・ 環境面に関するものとして、適切な栄養・食生活やそのための食事を支える食環境の持続可能性を高める観点から、焦点を当てるべき事業者の取組※
※ 検討に当たっては、事業者規模等に留意

- ・ 消費者が、自身の健康関心度の程度にかかわらず、健康の保持増進等に配慮された食品を選択し、ふだんの食事において利活用しやすくするための効果的な方策

- ・ 本取組の実効性を確保し、成果を適正に評価できるようにするための効果的な方策